

サプライチェーン混乱の緩和とともに生じる投資機会

本稿は、PGIM フィクスト・インカムグローバル・インベストメント・ストラテジストである Guillermo Felices が 2 月 3 日に執筆したブログ “SUPPLY CHAIN STRAIN : THE INVESTMENT IMPLICATIONS” の内容を PGIM ジャパン株式会社が要約したものであり、情報提供のみを目的として作成されたものです。

<要旨>

- **製造、労働市場、コモディティ市場**における供給制約を一因にインフレが高進しているが、こうした制約は 2022 年に緩和されると PGIM フィクスト・インカムは見ています。市場の一般的な見方とは異なり、PGIM フィクスト・インカムではサプライチェーンの混乱が収束に向かいインフレも緩和されると見ており、これによって魅力的な債券への投資機会が生じると考えています。
- **先進国債券**：米国では、市場がインフレの加速および米連邦準備制度理事会（FRB）のタカ派姿勢の強化を織り込み、ブレイクイーブン・インフレ率がここ数年で最も高い水準まで上昇、米国 10 年債の名目利回りはコロナ禍前の水準に近づきつつある。しかし、金融引き締めや高齢化などの構造的要因により、今後は経済成長とインフレも落ち着き、利回りの低下が予想される。特に米国 20 年債は割安だと見られ、投資妙味があると PGIM フィクスト・インカムは考えている。
- **エマージング債券**：インフレの高騰を受けて各新興国の中央銀行は金融引き締めを余儀なくされ、エマージング債の利回りは大幅に上昇した。しかし、世界経済の鈍化とともにコモディティ価格も落ち着きを取り戻し、現状織り込まれる利上げベースも鈍化すると見られる。現地通貨建債は、キャリアと価格上昇の両面で投資妙味があり、ハードカレンシー建債のスプレッドは足元で米国ハイイールド債を上回り、相対的な投資妙味があると PGIM フィクスト・インカムは考えている。
- **スプレッド商品**：スプレッド商品にとって方向性の定まりにくい環境であり、ベータの追求には不向きだが、とりわけ我々の予想通りインフレが落ち着きを取り戻せば、十分な超過収益の獲得機会があると考えられる。欧州ハイイールド債は米国ハイイールド債に比べて数年来の割安な水準であり、アクティブ運用による魅力的な投資機会がもたらされている。また、ハイイールド債は一般的に実質金利の変動に対する感応度が低く、より持続的な景気回復の恩恵を受ける傾向があり、欧米ともにハイイールド債は投資適格債に対して相対的な投資妙味があると PGIM フィクスト・インカムは考えている。

データの出所(特に断りのない限り)：PGIM フィクスト・インカム、2022 年 2 月 3 日現在。

留意事項

本資料に記載の内容は、PGIM フィクスト・インカムが作成した“SUPPLY CHAIN STRAIN : THE INVESTMENT IMPLICATIONS”をPGIMジャパン株式会社が要約したものです。PGIMフィクスト・インカムは、米国SEC の登録投資顧問会社であるPGIM インクのパブリック債券運用部門です。

本資料は、プロの投資家を対象としたものです。すべての投資にはリスクが伴い、当初元本を上回る損失が生じる可能性があります。

本資料は、当グループの資産運用ビジネスに関する情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品の勧誘又は販売を目的としたものではありません。また、本案内に記載された内容等については今後変更されることもあります。

本資料に記載されている市場動向等は現時点での見解であり、事前の通知なしに変更されることがあります。また、その結果の確実性を表明するものではなく、将来の市場環境の変動等を保証するものでもありません。

本資料で言及されている個別銘柄は例示のみを目的とするものであり、特定の個別銘柄への投資を推奨するものではありません。

本資料に記載されている市場関連データ及び情報等は信頼できると判断した各種情報源から入手したのですが、その情報の正確性、確実性について当社が保証するものではありません。過去の運用実績は必ずしも将来の運用成果等を保証するものではありません。

本資料は法務、会計、税務上のアドバイスあるいは投資推奨等を行うために作成されたものではありません。

当社による事前承諾なしに、本資料の一部または全部を複製することは堅くお断り致します。

“Prudential”、“PGIM”、それぞれのロゴおよびロック・シンボルは、プルデンシャル・ファイナンシャル・インクおよびその関連会社のサービスマークであり、多数の国・地域で登録されています。PGIMジャパン株式会社は、世界最大級の金融サービス機関プルデンシャル・ファイナンシャルの一員であり、英国プルデンシャル社とはなんら関係がありません。

PGIMジャパン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第392号
加入協会 一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会
PGIMJ88094